

発行責任者：富士根南地区社会福祉協議会



# 根南福祉だより 42号

(広報部)

## コロナ禍の一年を振り返って 会長 佐野 英夫



日頃は富士根南地区社会福祉協議会の活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

今年度は、当初から新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ計画した年間行事を中心・縮小せざるを得ない状況となりました。

5月開催の総会はとりやめ、文書提案による決議によりスタート。7月には「お知らせ」を発行し、各区に回覧して福祉講演会、三世代交流ふれあいまつり、地域を知ろう(史跡巡り)は中止とさせていただきました。

そうした中で、三密を避けて二つの事業を実施しました。その一つは杉田地区5会場での「福祉出前講座」です。研修部長が、各区での通常の会合の場をお借りして30分という短時間の中で、高齢化の実態説明、現状の福祉課題、それを遂行して

いくための福祉委員と協力員の役割、活動方法についての説明を行いました。

参加者からは、福祉活動を推進していくうえでの質問、意見が出ました。その中で「向こう三軒両隣」の関係づくりに向けて活動していきたい、という気持ちが伝わってきました。この様な支えあい活動の継続が期待されます。

もう一つは、南小1年生を対象にした「むかしの遊び教室」の実施です。今回は対面形式を避けて、事前に社協の推進員が学校に出向き十数種目の遊び方について、実演をし解説を交えてビデオ撮りを行いました。この動画を使った授業は年明けの三学期に行なわれました。

以上のように今年度はコロナ禍に振り回された一年間でしたが、次年度に向け地域の皆様が安心して生活できる福祉環境づくりに、地域の意見を取り入れながら推進員とともに作り上げていきたいと考えています。これからもよろしくお願ひいたします。



### 富士根地域包括支援センターってどんなところ？

富士宮市から委託を受けた公的な機関です。富士根地区にお住まいの方々が、住み慣れた地域で安心した生活を続けることができるよう総合的な相談・支援を、主任介護支援専門員、保健師（看護師）、社会福祉士の専門職が無料で行っています。令和3年度からは1名増え、4人体制になります！！

### ～よくある相談内容～

- 介護保険にまつわる相談（制度説明、手続き代行、ケアマネージャー探し等）
- 認知症にまつわる相談（病院へ行きたがらない、関わり方、認知症カフェの紹介等）
- 医療・健康にまつわる相談（病院から退院後の支援、受診先の相談、感染症に関する相談等）
- その他 ・県外在住の家族が支援に来れない ・福祉施設を知りたい ・困窮の相談  
・成年後見制度を申込みたい ・運動できる場所を教えてほしい 等

### お気軽にご相談下さい！

**（0544）21-3611**

【営業日】平日の月～金曜日（8:30～17:15）

※電話でのご相談は24時間受け付けております。

〒418-0022

静岡県富士宮市小泉1854-3

（障がい者福祉センター小泉敷地内）



## むかしの遊びビデオ撮影

サポート部 副部長 柴田有美子

令和2年のむかしの遊び教室は、コロナ感染予防の為、講師役のボランティアの方々に根南小の多目的広場で各遊びのお手本をビデオ撮影し、それを1年生の皆さんに観てもらうことにしました。

11月24日、26日の2日に分けて17名のボランティアの方々に協力していただきました。皆さん、ありがとうございました。担当の先生から「ネットで見れば分かる事でも地域の方に生で教えていただく事が大事なので、今後もよろしくお願ひします」という言葉をいただきました。



ビー玉の遊び方説明



あやとりの実演

## たんぽぽ

### 認知症についてお話ができるカフェ

たんぽぽカフェ 代表 佐野光敏

ご家族の認知症の方が心配な方はいらっしゃいませんか。「たんぽぽカフェ」は認知症を発症したご本人や家族の方が気軽にお話ししたり、相談したり、思いを吐き出したりできる場所です。

介護は、他人ごとではなくなってきました。誰もが介護に関わる時代になっています。特に認知症のご家族の介護は戸惑うことが多いようです。「たんぽぽ」は認知症の方の不安を軽減したり、介護者のストレスを発散する場です。同じ悩みを持つ介護者の体験を聞いてみたい方、自分の悩みを聞いてほしい方、ぜひ来て下さい。

男性の介護者も参加しています。

参加者の会話の中から、たくさんのヒントが出てきます。安心して肩の荷を下ろせる場所です。楽しくお話をしても、元気になって、笑顔で帰っていただきたいと思います。

**毎月 第二土曜日 13:30~15:30**  
**富士根南公民館 1階**  
**佐野光敏 090-8184-0767**  
**予約はいりません(無料です)**

## むかしの遊びを楽しむ会

富士根南小学校 校長 川口秀也

本校1年生の「むかしの遊び教室」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面式の交流は断念し、遊び方を紹介するビデオを根南地区社協の皆様のご協力のもと、撮影したことは前号のお便りでお伝えいたしました。過日、1年生は、この「紹介ビデオ」を見ながら、「むかしの遊びを楽しむ会」を開催しました。子供たちの感想を紹介します。

◆ぼくは、ゴムひこうきが一番たのしくて、じかんになるまでたくさんあそんでとてもたのしかったです。さいしょはじょうずにできなかつたけど、名人のアドバイスをきいて、てんにむけてとばすとよくとびました。 (1年 わたなべ ゆうし)

◆わたしは、けんだけたのしかつたです。けんだけのこつは、玉をゆらさないこと、玉をむかえにいくようにさらにのせることと、ビデオの名人がいったので、まねしてやりました。いっぽ、いっぽすすめられたのでたのしかつたです。また、いろいろなむかしのあそびにちょうどせんしたいです。 (1年 えんどう ひなた)



けん玉に挑戦中



笑顔で楽しいカフェ